

令和元年度 摂津市立千里丘小学校 第4回 学校協議会 要点録

日時：令和2年1月16日（金）18時～

場所：摂津市立千里丘小学校 会議室

記録：田中 大介（事務局）教頭

参加者：中田 康之委員、以登田 毅委員、丸山 紘幸委員、青木 みゆき委員
坂本 加代子委員、葛西 昭子委員、校長 撰田裕美、教頭 田中 大介

【校長挨拶】

年度の締めくくりの学期である。1年の取組みの成果がでる時期。
ご意見たくさんいただきたい。

【これまでの取組み】校長からパワーポイントで説明。

- ① 11月18日 5年家庭科NHKによる取材
- ② 11月18日 少人数指導改善研究授業
- ③ 11月19日 教育支援会議（途中入級の児童）
- ④ 11月21日 施設監査
- ⑤ 11月26日 三島地区連合音楽会（5年）
- ⑥ 11月27日 教育委員学校訪問
- ⑦ 11月30日 千小発表会
- ⑧ 12月 6日 三中校区不登校ワーキング
- ⑨ 12月10日 日本語指導府教委訪問
- ⑨ 12月11日 市学力定着度調査
- ⑩ 12月24日 二学期終業式
- ⑪ 1月 8日 三学期始業式
- ⑫ 1月17日 避難訓練

（校長） ご質問等がありますでしょうか。

（委員） 外国にルーツのある児童は現在いますか？

（校長） います。例えば幼い時に外国で過ごし、身につけた母語を忘れないためにも母語を指導している場合もあります。

【学校アンケートの結果】

- (委員) 児童アンケートの「テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めていますか。」とあるが、学校でゲームをする時間等は決めておられますか。
- (校長) 家庭学習の時間の目安は決めています、テレビやゲームの時間は決めていません。
- (委員) 現在の児童数は？
- (校長) 317名です。
- (委員) 健都からもたくさん来ていますか？
- (校長) 今後増えることが想定されます。現時点で次年度の1年生は66名と聞いています。
- (委員) 今後、教室が足りなくなりますね。
- (校長) そうですね。今後、早急に検討していく必要があります。

【学校アンケートにおいて意見をいただきたい以下の4つの観点を校長から提示】

観点1：生活習慣について

生活習慣が児童については児童質問紙「毎朝、朝ごはんを食べていますか。」「毎朝、トイレに行っていますか。」「毎朝、歯みがきをして、顔を洗っていますか。」の肯定的回答は全て下降傾向です。

生活習慣の保護者に対する質問について「子どもは、睡眠時間を充分とっている。」「子どもは、毎朝、十分な朝食を食べている。」「子どもは、毎朝、歯磨き、洗面をしてから登校する。」「子どもは、毎朝、トイレに行ってから登校する。」の肯定的回答の割合が全て下降傾向です。

睡眠時間についての質問の肯定的回答は子どもは+3ポイントであるが保護者は-10ポイントであり、児童と保護者の回答に差があります。

- (校長) 生活習慣は学力や体力など全ての事に大きく関連します。日頃思われていることやデータから見えることなどについてご意見いただきたく思います。
- (委員) 保護者の理解を得ないと、生活習慣の改善はなかなか難しいですね。
- (委員) 小さい時からの習慣ではあるが、確かに顔を洗っていないや歯磨きをしていない家庭もあるのかなと思います。
- (委員) 11月号の千小だよりに携帯スマホの所持率が記事になっているのを見ました。携帯やスマホの普及に伴って生活習慣が崩れる1つの原因だと思います。千小だよりにもあるが、スマホの実施時間について

ては保護者が決めた方がいいのかなとも思います。

(委員) 保護者と児童とのデータにもずれがあります。

(委員) 小さい子にもスマホを与えると静かになるから与えるのもあると思いますね。

(委員) 保護者は歯磨きしなさいと言っているけど徹底できていないとかがあるのかなとも思います。

(委員) 基本的には歯は洗っていると思うが、休みの日はだらだらしてしまい、できていない時もあると思います。しかし、顔を洗わない児童もいるのに少しびっくりしています。

(委員) いくら母が忙しいとはいえ、小さい時から習慣づけなければだめだと思いますね。

(委員) 一時、早寝早起き朝ごはんを大阪府全体で徹底した時もありました。

(委員) 朝ごはんを食べているといっても、パンだけなのかお菓子を食べているのか様々な状況が考えられますよね。

(委員) スマホ→寝るのが遅い→起きるのが遅い→朝食べられない。
この悪循環が続いているのかもしれないですね。

(委員) 共働きの家庭が増えていて、両親も早く寝れていないことが多いと思います。1日働いた後の帰宅後に食事をつくり、子どもの寝貸しつけをしている家庭が多く、就寝時間が遅いため、朝食を食べさせる時間もないことが考えられます。大人が時間のない生活をしているので、子どもの生活習慣の改善をはかるのはなかなか難しい問題だと思います。

(委員) やっぱ、親としては早く寝させることが必要ですよ。

(委員) 共働きになると母も11時や12時に就寝になります。よって、子どもも早く寝かせられないのもあると思います。

(委員) 今後はさらに共働き家庭が増えていくことが考えられる。保護者に対する健康教育が必要だと思う。まず、大人が「食べること」や「健康」に関心を持たなければならないと思う。園でも今後、保護者対象の健康教育に関する勉強会を実施しようと考えています。

(校長) この生活習慣については家庭との連携が必要なので、今後も様子をみながらPTAと連携が必要だと思いますね。学校としてメッセージを保護者にだす予定でいます。

観点 2：読書時間について

- (校長) 子どもは本は好きであるが、実際には読んでいないことがわかる。全国学力学習状況調査にも同様の傾向が見られる。このあたりのご意見をいただきたいと思います。
- (委員) 児童と保護者の差は家で本を読んでないからだと思います。
- (委員) 家はテレビもスマホもあるし、読書以外にもしたいことが多いのではないのでしょうか。
- (委員) 学校だとテレビもスマホもないですもんね。
- (委員) 読書時間が少なくなっているのも家庭に余裕がないからだとも思います。家庭での読書は家庭内にゆとりがないと、なかなかできない。大人（親）の問題であるとも思います。
- (委員) うちの子（妹）は読書が好きなので本を読むが、姉は読書は嫌いではないが、読書よりもっと楽しいものが家にはたくさんあるので読書以外のことをして楽しんでいます。姉には時間を与えれば読むと思います。スマホのない学校環境は読書にいいと思います。
- (委員) 家だと何でも「～ながら」になってしまいますもんね。
- (委員) 電車の中でもみなさんスマホをずっと見てますもんね。
- (委員) 1日30分のタイマーを使って、スマホを使わせているが、スマホによるいじめ等も気になります。友達に「昨日なんで見てなかったん？」と聞かれ、既読スルーなどの問題がでてくるのかも不安ですね。
- (委員) 三中ではここ数年、生徒会を中心にスマホサミットなども実施し、取り組みを進めていると聞いています。
- (校長) 読書を推進するためにはスマホやテレビもない環境設定がいいんですかね。
- (委員) そうですね。それとともに、学校で読書が楽しいと感じてもらえる子が増えればいいですね。
- (委員) 子どもたちは本は好きであるが、なかなか読書の時間がとれていないことに対して、小学校の図書室を以前に参観させていただいたが、本への興味関心が高められるような工夫がなされていて、よい図書室だなと感じました。本は親や教員が「読みなさい！」と言って読ませるものではないと思います。子ども自身が本を読みたいと思わなければなりませんからね。
- (校長) 学校では〇冊借りるとしおりがもらえるなどの工夫をしています。また、読書ノートを子どもに書かせています。子どもにとっての刺激で言うとスマホの方が楽しいが読書活動の推進を地道に進めていく必要があります。

【観点3】人材育成について

- (校長) 教職員アンケートで特にオレンジになっている部分があります。「お互い授業を見る」「研修に行きやすい環境」時間が取れていないという実態があります。教員の専門性を向上させるとともに、組織として指導力を向上させる必要があると考えており、本校でも意図的な研修（メンターチーム）を実施しているところであります。しかし十分とはいえないと考えています。
- ご意見いただきたく思います。
- (委員) 園でも同じような悩みを抱えています。人的に余裕がないとなかなか、外部の研修に職員を出すことができない現実が園にもあります。「他の教員の授業を見る。」「他の教員と一緒にチームで取り組む」ことが育成にとって必要であると考えています。
- (委員) 昔は自習ができました。今は教室からなかなか離れられない現実があります。2クラス見て、一斉に作業させるなど工夫しないとなかなか人を捻出することが難しいですもんね。
- (委員) 人の授業をみるの是一目瞭然ですもんね。学びにはなりますよね。
- (委員) 人をはるにはどうしたらいいのか難しい問題であります。
- (委員) 担任が不在にした10分間で何かが起こったら・・・と考え、担任は自分のクラスにいる状況もあると思います。
- (委員) 2クラスの児童をまとめて1人の教員が授業する方法とかするしかないんでしょうかね。
- (委員) 今の教員はしなければならないことが多くあり、それに追われる現実がありますね。
- (委員) そうですね。今は子どもも教員にも余裕がないです。いい意味では効率的で無駄がないスピードを求められます。例えば子ども同士のトラブルがあっても、スピード解決を求められる。なかなか、ゆっくり解決というのが難しいですね。
- (委員) 私はわが子をはたいてもらっていいと言ったこともあるが、今は時代的に難しいですね。
- (委員) 若い教員が増えているなかで、今後、学校としての人材育成は急務ですね。
- (委員) 長い年月かけて育てていくことと、すぐにスキルアップしなければならないものの仕分けが必要なのかもしれませんね。
- (委員) 市の初任者研修で小中学校教員が園に研修に来ることがあるが、あのような研修はとても大切だと思います。園の職員を小学校にて体験研修をさせたいです。また、研修はたくさん必要であると思うが、「働

き方改革」に係る勤務時間との兼ね合いも難しいと思います。研修をたくさん入れると勤務時間も増加する現実がありますから。

(委員) 1年目の教員は今、どれぐらい研修の時間がありますか。

(校長) 現在、1年目の教員は年間280時間の研修が必要と法律で義務付けられています。子どもと関わることで、成長がみられることにやりがいを感じられるような教員を育てる必要がありますね。

【観点4】情報発信について

(校長) 学校ではホームページで様々な情報を発信しています。発信の方法も含めてご意見いただきたい。また、先日の市PTA大会では手紙をメール発信するなどの方法はどうかなどの提案がなされました。学校としてどのように発信するのがいいのかご意見いただきたいです。

(委員) 回覧版で学校だよりを回すこともあります。ただ、字が多すぎるのではないかと思います。詳しく、これもあれもと言いたいことが多いのではないかと思います。見ようかなと思える工夫が必要です。あれもこれもとなると読む気がなくなるし、保護者や地域の人が見る気がするかしらないかも大切だと思います。表面は簡単に、裏面に詳細を載せるのもいいと思います。

(委員) メールを使って連絡をするのも方法の一つではあるが、緊急メールと簡易な情報提供が混在しているとメールを見なくなるというのがあります。受け取る方としてはあまりたくさん来すぎると埋もれてしまう可能性があります。

(委員) どんな情報をどんなメディアを使って発信するかというのも大切ですね。

(委員) 安全安心メールはみな登録されているんですか。

(校長) そうですね9割から9割5分は登録しています。